

# GAP認証に係る分析のご案内

GAP認証の取得のトータルサポート

## 農産物の残留農薬検査

残留農薬検査の計画は農場内で使用した農薬及びドリフトの可能性のある農薬の内、残留の可能性が高いと思われる品目・農薬成分・収穫時期・場所から選定するか、または特に残留の可能性が高い成分を特定できない場合は、**多成分セット分析**を行い、リスク評価にお役立て下さい。3～5営業日にて速報いたします。

### GAP専用 多成分セット分析

	野菜・果樹向け	ドリフトのリスク確認 含めより幅広く	茶の栽培で使用される 農薬に特化	水稻の国内使用 農薬に特化
	<b>GAP200</b>	<b>GAP290</b>	<b>GAP200(国産茶)</b>	<b>GAP200(玄米)</b>
	<b>25,000円</b>	<b>50,000円</b>	<b>40,000円</b>	<b>40,000円</b>
検査対象	国内産の生鮮農産物(茶を除く)	国内産の生鮮農産物(茶を除く)	国内産の製茶・荒茶	国内産の玄米
内容	国内登録農薬から検出事例等を考慮し、200農薬選定したGAP認証取得応援メニュー。	難分解性POPs農薬7成分を加え、国内登録農薬から290農薬を選定。国内違反事例の98%をカバーしたGAP専用メニュー。	茶の国内登録農薬の86%をカバー。検出事例を考慮した国産茶限定の200農薬のセット。	稲の国内登録農薬の89%をカバー。検出事例を考慮した国産玄米限定のGAP専用200農薬のセット。

メニュー詳細はホームページに掲載しております。使用した農薬やドリフトのリスクがある農薬が含まれているかご確認ください。

### 個別定量分析

**1農薬 12,000円～**

- 実際に使用した農薬だけを個別に検査したい
- セット分析に個別農薬を追加したい
- 収穫直前に撒いた農薬だけを検査したい

- **国内農産物に特化したGAP専用メニュー**

国内農産物に特化して無駄な農薬を省いた中身の濃い検査メニュー

- **ISO/IEC17025認定試験所**

分析の技術力・精度・信頼性が国際的に認められ、試験所認定の国際規格ISO/IEC17025の認定を、残留農薬一斉試験法(200農薬・17作物)で取得

- **JGAP、ASIAGAP、GLOBALG.A.P.の認証に対応**

日本GAP協会の推奨検査機関及びGLOBALG.A.P.国際会員『GLOBALG.A.P. Associate Member』



お見積はホームページからお気軽にお問い合わせ下さい

GAP認証に係る分析の専用ページ

<https://www.tacnet.jp/gap/>



**即日対応!**

FAX又はメールでお見積書を送信後、原本を郵送いたします

専用ページ下部に“お見積内容入力フォーム”およびお問い合わせフォームへのリンクがございます

# 農地土壌の分析

土壌(客土・培土・水耕栽培の培地を含む)の安全性について年1回以上リスク評価し、必要な場合は安全性の評価項目として、ドリン系農薬などのPOPs物質の残留、重金属類、放射性物質等の検査を行います。また、圃場の土壌特性を把握し、土作りや、適切な施肥設計を行うために、毎年定期的に土壌診断分析を行うことで健康な土づくりを持続的に行うことができます。

	根菜類・ウリ科等 検出事例あり	農薬使用履歴が 不明な圃場で 幅広くリスク確認	放棄地・水害後の リスク確認	適切な施肥の為に
	<b>難分解性POPs農薬 7項目セット</b>	<b>GAP200(土壌)</b>	<b>重金属4項目セット (農地全般)※1</b>	<b>土壌診断11項目セット (主に畑作土壌)※2</b>
	<b>20,000円</b>	<b>50,000円</b>	<b>20,000円</b>	<b>8,000円</b>
内容	土壌残留性の高い難分解性のPOPs指定7農薬を分析 BHC、DDT、ドリン剤3種、ヘプタクロル、クロルデン	DDTやドリン系農薬などの難分解性農薬や検出事例の多い200農薬を選定	土壌環境基準の内、作物への影響が心配される重金属4項目を分析 カドミウム、鉛、砒素、水銀	EC、pH、CEC、石灰、苦土、加里、リン酸、リン酸吸収係数、アンモニア態窒素、硝酸態窒素、腐植

※1 試験協力機関: クリタ分析センター株式会社(計量証明事業所) ※2 試験協力機関: 株式会社川田研究所(計量証明事業所)

# 水質の分析

生産工程で使用する水が農産物に危害を与える要因がないか、リスク評価を年1回以上実施し、必要に応じて水質検査を行います。農機具・収穫容器の洗浄、農薬の希釈に使用する水、収穫期近くに灌水する水、収穫後に収穫物の洗浄に使用する水は、より高い安全性が求められています。水質検査を年1回以上行い、大腸菌不検出であることを確認しましょう。

	水稻の正常な生育のために望ましい灌漑用水の指標項目	畑の灌水に 河川水・環境水をお使いの方に	飲用適であるか確認 (大腸菌含む)	井戸水・養液栽培用水等における菌のリスク確認
	<b>農業用水基準 8項目セット(水稲用)</b>	<b>水質汚濁4項目セット (水稲以外)</b>	<b>飲用井戸水 14項目セット</b>	<b>微生物2項目セット</b>
	<b>20,000円</b>	<b>25,000円</b>	<b>15,000円</b>	<b>8,000円</b>
内容	pH、COD、SS、全窒素、EC、砒素、亜鉛、銅	pH、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質、大腸菌数  河川の環境基準4項目。河川水や農業用水の水質汚濁の指標項目	一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、鉄及びその化合物、マンガ及びその化合物、塩化物イオン、カルシウム、マグネシウム等(硬度)、有機物(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度	一般細菌数、大腸菌数(MPN)

※試験協力機関: クリタ分析センター株式会社(厚生労働大臣登録水質検査機関)

分析のご依頼・お問合わせ先



Email : [info@tacnet.jp](mailto:info@tacnet.jp)

TEL. 029-858-3100 FAX. 029-858-3106

〒305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6 D-30

# 土壌生物性診断のご案内

土壌から微生物等のDNAを抽出し、土壌病原微生物の密度測定をおこないます

土壌病害は目には見えないカビやセンチュウなどの土壌病原微生物によって引き起こされます。土壌中の病原微生物について把握することは、土壌病害の未然防止や農薬の費用削減など作物栽培にとって有用です

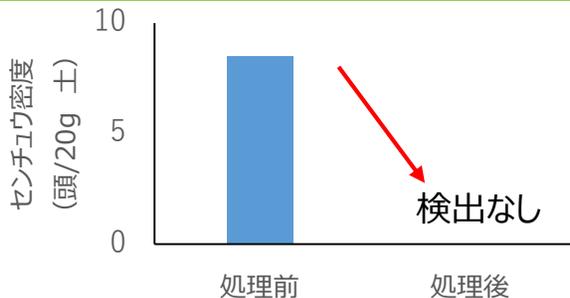
土壌の状況を把握する一助として

- 土壌病害の未然防止 ● 不要な土壌消毒の削減 ● 土壌消毒効果の確認

検査項目	汚染度※の記載	分析方法	料金(税別)	納期
ネグサレセンチュウ	○	リアルタイムPCR法	8,000円 2項目目以降 +2,000円	5営業日
サツマイモネコブセンチュウ				
ダイズシストセンチュウ				
根こぶ病菌				
イモグサレセンチュウ				
ネモグリセンチュウ	×			
フザリウム・オキスポラム				

※汚染度は測定密度が多いか少ないかわかりやすいように0~3で示したものです。被害の発生や対策方法の決定の目安になります。

## 診断の活用例：太陽熱消毒の効果の確認



太陽熱消毒によるネグサレセンチュウの死滅が確認できました。安心して次の作付けができます。

## 報告書の見本

汚染度の記載あり



測定結果の密度を示すとともに、汚染度レベルを『\*』の数で表しています。密度が高いと汚染レベルも上がります

汚染度の記載なし



測定結果の密度を載せています

## ● 検査の特徴

### 分析方法 (リアルタイムPCR法)

土壌からDNA抽出し、リアルタイムPCR法を用いて病原菌等の密度をDNAの量から求めます

### リアルタイムPCR法のメリット

センチュウ：卵や運動性のない固体も含めて検出できます  
病原菌等：培養を経ずに迅速に菌密度を把握できます



分析の大まかな手順

## 土壌病原微生物と被害内容

**ネグサレセンチュウ：** 広ささまざまな植物に寄生します。一般に地上部の病徴はあまりありませんが、根菜類で病徴が見られます。また、他の病原菌との複合病を引き起こすことが知られています。

**サツマイモネコブセンチュウ：** 東北から南西諸島まで広く分布しています。イチゴや落花生を除く主要な作物全てに寄生します。萎凋枯死や根菜類の奇形を引き起こします。

**ダイズシストセンチュウ：** マメ科を好んで寄生します。病徴としては葉の黄化・萎凋・枯死があげられます。また、外観的被害がみられないまま、減収を引き起こす場合もあります。

**根こぶ病菌：** 主にアブラナ科植物に寄生し、根にこぶを形成させます。根のこぶが肥大し、地上部の萎凋や枯死を引き起こします。

**イモグサレセンチュウ：** 青森、北海道などの地域でニンニクの栽培時に問題となっているセンチュウです。土壌からニンニクの根や鱗片に侵入し、生育不良や貯蔵時の腐敗を引き起こします。

**ネモグリセンチュウ：** レンコンに黒点症状や変形などを引き起こすセンチュウです。

**フザリウム・オキシスポラム：** 根から植物に侵入し、導管部を褐変させ、植物の水分・養分の吸収を阻害し、生育不良、萎れなどの症状を引き起こす糸状菌です。トマト萎凋病、キュウリつる割れ病など様々な病気の原因になります。

注；各病気に対する分化型が知られており、例えば、トマト萎凋病を引き起こすフザリウム・オキシスポラムとキュウリつる割れ病を引き起こすそれは違う種類（分化型）のものです。本検査ではフザリウム・オキシスポラムの種類（分化型）の特定はできません。

## 土壌採取について

### 土壌採取地点について

1圃場につき離れた複数地点（5か所以上）、部分的に病害発生、生育不良などがあった場合はその箇所から数地点採取してください。

#### ●圃場全体の密度をみる場合



サンプリングは圃場内満遍なく5地点以上（位置はランダムでもかまいません。）

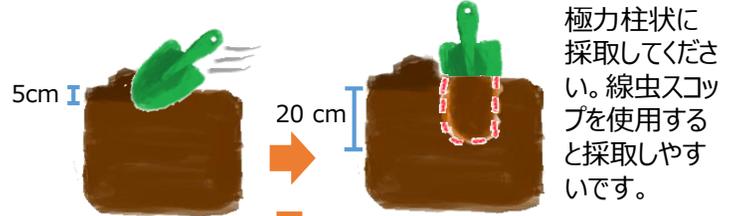
#### ●部分的に病害発生、生育不良などがあった場合



生育不良などの箇所から数地点採取してください

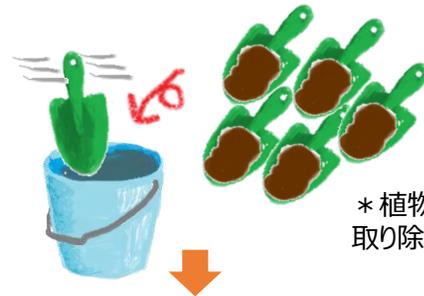
### 土の採り方

①表層の土を5 cm程度はらって、作物の根が張っている深さ（深さ20cmくらいまで）の土壌をとってください。



極力柱状に採取してください。線虫スコップを使用すると採取しやすいです。

②各地点からとった土をバケツなどにまとめていれ、よく攪拌してください。



\* 植物体は取り除いてください。

③300g程度の土を取って、袋にいれて、郵送してください。

### サンプリングのタイミングについて

- ✓ 雨天直後は極力採取しないでください。
- ✓ 採取した土壌の保管が必要な場合は高温になる場所をさけて保管してください。
- ✓ 作付け中、収穫後などタイミングによって病原微生物の密度は変動します。経年変化をみたい場合は、施肥前や作付け前などサンプリングのタイミングをいつも同じにすると、結果を活用しやすくなります。
- ✓ 防除の前後で密度の変化をみたい場合、特に防除後のサンプリングは処理完了後10日程度（冬季はそれ以上）経過した頃にサンプリングしてください。防除処理直後の土壌には死んだ微生物のDNAが残っており、そのDNAを検出して実際より高い密度の結果となる可能性があります。

## お問い合わせ先



株式会社

つくば分析センター

Tsukuba Analysis Center Co., Ltd.

[www.tacnet.jp](http://www.tacnet.jp)

TEL. 029-858-3100/FAX. 029-858-3106

E-mail: [info@tacnet.jp](mailto:info@tacnet.jp)

〒305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターD-30